

●記入上の留意点

事業区分	委託者番号	事業所番号	1	変更年月日			
基金型	機約型 0008005	309876	1	「XX年04月01日」 ← (例) 「前年11月～当年4月を改定月とする月変」 「XX年10月01日」 ← (例) 「定時決定(算定)による1等級以上の変動」「当年5月～10月を改定月とする月変」			
原簿記の番号	2	加入者番号	氏名	3	変更年月日	7	変更事由
16	234567	日本	太郎	令和 021001			
基金結算1 (第1年度・標準報酬月額)	4	300000	5	基金結算2 (第2年度・口数×1000円)	6	昭和 631005	
原簿記の番号	加入者番号	氏名	変更年月日	変更事由			
21	456789	基金	花子	令和 021001			
基金結算1 (第1年度・標準報酬月額)	7000	昭和 040123					
原簿記の番号	加入者番号	氏名	変更年月日	変更事由			
23	345678	加付 関東	愛	令和 021001			
基金結算1 (第1年度・標準報酬月額)	220000	2000	昭和 060312				

① 事業所番号

当基金が事業所ごとに割り振る6ケタの数字です。

② 加入者番号

当基金が加入者ごとに割り振る最大10ケタの数字です。右詰めでご記入ください。

③ 変更年月日

「XX 04 01」または「XX 10 01」 (例) 1月に昇給、1・2・3の3ヶ月分の平均で2等級昇級、4月月変 → 「XX 04 01」
 厚生年金の標準報酬月額が定時決定(算定)で9月に1等級降級 → 「XX 10 01」

④ 基準給与 1 (第 1 年金実施事業所)

第 1 基準給与として変更年月日時点の厚生年金の標準報酬月額をご記入ください。

上限：620,000 円 ※令和 2 年 9 月から 650,000 円の等級ができる予定です。

下限：88,000 円

※「報酬月額」を記入する欄ではありません。

(例) 報酬月額 210,500 円 → 標準報酬月額 220 千円 → 「220,000」とご記入ください。

⑤ 基準給与 2 (第 2 年金実施事業所)

第 2 基準給与として変更年月日時点の口数×1,000 円をご記入ください。

⑥ 基準給与 3 (第 2 年金実施事業所)

第 2 事務費掛金の金額をご記入ください。

第 2 年金のみ実施 : 口数 × 100 円 (上限 500 円)

※届出用紙には“口数×100 円 上限 300 円”とありますが、

第 1 年金+第 2 年金 : 一律 100 円

左記のとおりご記入ください。

※ ④～⑥は、変更があった項目のみご記入ください。変更がなかった項目は、空欄のままで差し支えありません。

⑦ 変更事由 (第 1 年金実施事業所)

基準給与 1 を変更する場合のみ、厚生年金の標準報酬月額が変更になった事由及び変更が適用された月をご記入ください。

※給与が変更になった月ではなく、算定や月変で厚生年金の標準報酬月額の等級が変更になった月をご記入ください。

(例) 4 月支払分から昇給→4・5・6 の 3 ヶ月分の平均で 2 等級昇級→7 月改定の月額変更届の対象

→ (7) 月変と記入して口に✓→変更年月日は「XX 10 01」